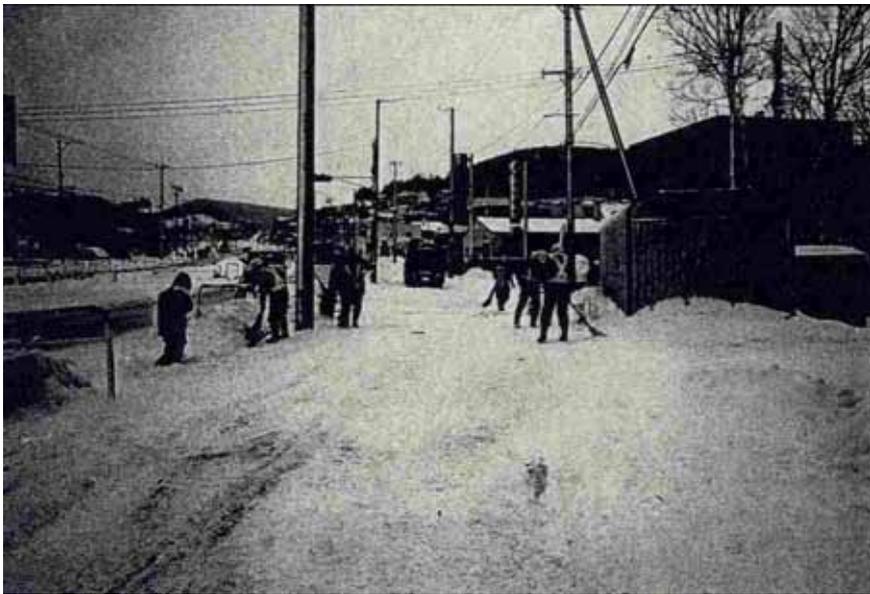


【現場除雪事例：H13 北海道 44】

除雪工夫分類	A2:気象情報確認・活用 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道5号小樽市塩谷舗装工事
施工場所	北海道一般国道5号小樽市塩谷地元
工期	平成13年6月28日～平成14年2月20日
使用機材 / 機械	トラクターショベル 0.8m <sup>3</sup> 、タイヤバックホウ 0.4m <sup>3</sup> 、路面ヒーター、ダンプトラック 11t、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>前日、当日の降雪の状況を確認作業前、作業中は歩行者通路の除雪を優先住民の出入口の除雪を優先すべて完了後、作業帯の除雪を開始作業終了前に降雪状況を確認、必要に応じて除雪・歩行者通路は誘導員を配置し、タイヤショベルで除雪住民の出入口は誘導員を配置し、タイヤショベルで除雪圧雪はタイヤバックホウで除去し、ダンプトラックで排雪路面の凍結は、路面ヒーターで加熱除雪完了後は、凍結路面に塩カルを散布現地附近の道路で、スリップ等で走行できない車両がある場合、塩カル、砂等で対処</p>
	
<p>人力による突起物の確認及び除雪</p>	

【現場除雪事例：H13 石川県1】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / A2:気象情報確認・活用 / D2:路面・法面への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	都市計画道路 空港軽海線 緊急地方道路整備(街路B)工事
施工場所	石川県小松市浜田町地内
工期	平成12年10月24日～平成14年3月20日
使用機材 / 機械	スコップ除雪、凍結防止 / ホイルローダ(1.0m <sup>3</sup> バケット付) 1.0m <sup>3</sup> バケット
現場除雪の工夫・留意点等	<p>歩行者通路の除雪、仮橋部の除雪は全面取り除くのではなく、滑り防止の為(凍結時)少量残す。凍結防止剤散布は、夜間凍結、降雪等天気予報に注意を払い、可能性がある場合、前もって散布した。仮設道路は、路面Asをカキ起こさぬよう除雪機械のバケットを最大に降ろさない。又、夜間作業になる為、一般車両から、除雪作業中が一目で認識できる回転灯、作業灯を全灯させ作業する。</p>

【現場除雪事例：H13 北海道 143】

除雪工夫分類	A4:早出や終了時の除雪 / D1:構造物への配慮 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道334号斜里町知布別改良工事
施工場所	北海道斜里町 真鯉
工期	平成13年3月15日～平成14年3月13日
使用機材 / 機械	除雪スコップ / バックホウ 0.4m3 級、ブルドーザーD20A
現場除雪の工夫・留意点等	重機オペが始業時間に作業が行えるように事務所前、作業用道路を始業時間の2時間程度早く現場に来て除雪を行う。構造物の側は、機械で除雪を行うと破損する恐れがあるので人力により除雪を行う。除雪を効率よく行うため、巾の広い法面パケットを使用した。除雪作業中は片側交互通行の規制をかけて行った。



構造物箇所人力除雪状況

【現場除雪事例：H13 岩手県 9】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B1:除雪範囲の限定
工事種別	道路工事
工事名称	崎山歩道工事
施工場所	岩手県宮古市崎山地内
工期	平成 13 年 3 月 13 日 ~ 平成 14 年 2 月 8 日
使用機材 / 機械	ダンプトラック 2t
現場除雪の工夫・留意点等	歩行者通路の確保。バス停内の除雪施工区域内の除雪(当面施工する範囲)。

【現場除雪事例：H13 秋田県 6】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B1:除雪範囲の限定
工事種別	道路工事
工事名称	大川交差点改良工事
施工場所	秋田県南秋田郡五城目町大川下樋口字屋敷下地内
工期	平成 13 年 10 月 18 日～平成 14 年 3 月 29 日
使用機材 / 機械	ホイールローダー 0.4m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	<p>工事区間が一般国道 7 号のため歩道を中心に車道から除雪された雪と一っしょに工事箇所が明確になるよう速やかに処理した。作業スピードを向上のため当日の施工区間を中心に機械による除雪を実施した。工事箇所がせまかったため、小型機械（ホイールローダー 0.4 m<sup>3</sup>）を使用し、一般車輛及び歩行者の通行に支障ないように留意した。</p>



近隣周辺保育園前除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 150】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	小樽港線（道単）交安施設（自歩道）工事（冬）
施工場所	北海道小樽市
工期	平成 13 年 10 月 29 日～平成 14 年 2 月 20 日
使用機材 / 機械	竹ホウキ、スコップ、塩カル / タイヤショベル0.3m3級、バックホウ0.2m3級、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	歩道部施工の為、歩行者通路確保の為、歩道部・車道部の両方の除雪を行った。又、観光地である為、おみやげ屋も多く、各店舗前の排雪も行った。（住民要望により）車道部の除雪後は塩カル散布を行った。現場施工機械を使用。除雪も現場作業の機械は兼用した。但し、ダンプトラックに関しては積雪の状況に応じて台数を増やし、施工した。車道部は、降雪後、一般車スリップ防止の為、塩カル散布を行った。（一車線規制作業の為）観光客が多数通行する箇所なので、観光客が滑らないようにマットを敷いて転倒防止を行った。



歩行者が滑って転ばないように工夫した

【現場除雪事例：H13 山形県 13】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B2:現場機材の活用
工事種別	道路工事
工事名称	平成12年度 緊急地方道路整備事業 主要地方道 酒田松山線 電線共同溝(C.C.BOX)整備工事
施工場所	山形県酒田市上本町地内
工期	平成13年3月27日～平成14年3月15日
使用機材/機械	スコップ/バックホウ0.25m <sup>3</sup> 、ダンプトラック4t
現場除雪の工夫・留意点等	当日の作業範囲をバックホウで集積、積込みし、ダンプトラックで現場外集積地に運搬した。歩行者通路(歩道)を人力+スコップで歩道内に除雪した。機材については、全て当日の作業で使用する機材を利用した。重機足場となる箇所は、滑動防止の為、完全除雪した。歩道内の除雪は、幅員1m以上を確保した。



バックホウ集積状況

【現場除雪事例：H13 北海道 38】

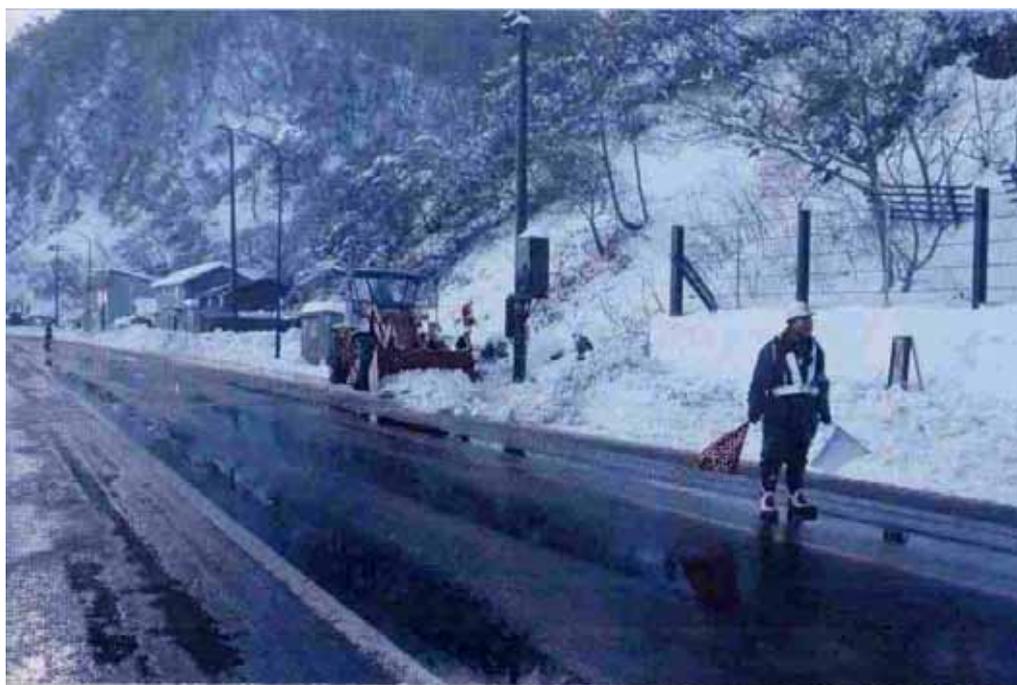
除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道228号 福島町 福島情報ボックス設置工事
施工場所	北海道福島町字福島
工期	平成13年3月13日～平成14年2月18日
使用機材 / 機械	角スコップ、プラスチックスコップ / バックホウ 0.25m <sup>3</sup> 、小型ダンプ 4t 車
現場除雪の工夫・留意点等	歩道部の舗装作業なので、民家周辺は排雪を行った。路盤材が凍上していたため路面に凹凸があり、スコップが引っかかるため人力作業では無理なので0.25m <sup>3</sup> バックホウで排雪後、塩カルを散布し、路盤整正作業を行った。



機械除雪作業

【現場除雪事例：H13 北海道 45】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / D1:構造物への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道336号 広尾町美幌落石防護擁壁
施工場所	北海道広尾町美幌
工期	平成13年10月18日～平成14年3月5日
使用機材 / 機械	タイヤショベル 1.4m3 級
現場除雪の工夫・留意点等	除雪箇所の前後に誘導員を配置して、一般通行の支障とならない様通行車円滑を図る。細部構造物附近は人力で除雪を行い、構造物を傷つけないよう慎重にタイヤショベルで除雪する。



【現場除雪事例：H13 北海道 58】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道37号 伊達市 梅本交差点改良工事
施工場所	北海道伊達市梅本町
工期	平成13年6月8日～平成14年2月5日
使用機材/機械	トラクターショベル 0.35m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	施工箇所が通学路となっている為、登・下校の支障とならない様、早い時間帯に作業した。又、交差点部が凍結の場合は停止線の前後に融雪剤を散布した。歩道上なので、小型機械にて作業した。



小型機械の使用

【現場除雪事例：H13 北海道 98】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道38号浦幌町吉野外舗装補修工事
施工場所	北海道浦幌町吉野、本別町勇足
工期	平成13年11月2日～平成14年1月18日
使用機材/機械	塩化カルシューム、砂/グレーダー0.2m3
現場除雪の工夫・留意点等	除雪に伴う片側交互規制区間について100m程度とし、作業中の交通渋滞に留意しました。除雪作業後の湿潤(車両走行部分)については、塩カル及び砂を散布して、再凍結による事故防止処理を行いました。



除雪後の湿潤部分への塩カル・砂散布によるスリップ対策

【現場除雪事例：H13 北海道 99】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道38号浦幌町公園橋外高欄補修工事
施工場所	北海道浦幌町本別町
工期	平成13年9月1日～平成14年1月30日
使用機材/機械	バックホウ 0.2m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	片側交互通行での作業なので通行車両停止位置から前に融雪剤、砂等散布してから除雪を行った。町道等現場周辺道にも砂を散布した



現場近隣の町道へ砂の散布

【現場除雪事例：H13 北海道 105】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道231号浜益村二ツ岩トンネル工事
施工場所	北海道浜益郡浜益村大字群別村字床丹～千代志別
工期	平成11年7月28日～平成14年1月28日
使用機材/機械	ママサンダンプ、除雪用スコップ/タイヤショベル 0.3m <sup>3</sup> 、タイヤショベル 1.3m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	国道脇での除雪作業になるため、交通整理員を配置して行う。状況により片側通行規制を実施する。これにより、第三者の安全を確保する。



片側交互規制の状況（左手の堆雪スペースを除雪して幅員を確保する）

【現場除雪事例：H13 北海道 118】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道453号 壮瞥町 壮瞥歩道新設工事
施工場所	北海道壮瞥郡壮瞥町字滝之町
工期	平成13年7月12日～平成14年2月15日
使用機材/機械	道路凍結防止剤(NM-MIX)/バックホウ0.25級、ダンプトラック4t車
現場除雪の工夫・留意点等	作業が片側交互通行により施工するため、現場内の外に前後50m位塩カル散布をしました。



現場内凍結部、塩カル散布

【現場除雪事例：H13 北海道 128】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	平成12年度施工一般国道230号札幌市簾舞舗装工事
施工場所	北海道札幌市南区簾舞
工期	平成12年3月28日～平成14年2月5日
使用機材/機械	グレーダー3.7m級、バックホウ0.45m <sup>3</sup> 、小型ロータリー除雪車歩道用、タイヤショベル1.5m <sup>3</sup> 、タイヤショベル0.8m <sup>3</sup> 、ダンプトラック10t
現場除雪の工夫・留意点等	仮歩道の確保を優先した。車輛通行車線側の仮歩道の雪山を取り除く時、バス停附近から排雪を開始した。地域消防車出入口附近の雪の山を、早期に排雪して、出入口を広げた。



バス停付近の除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 131】

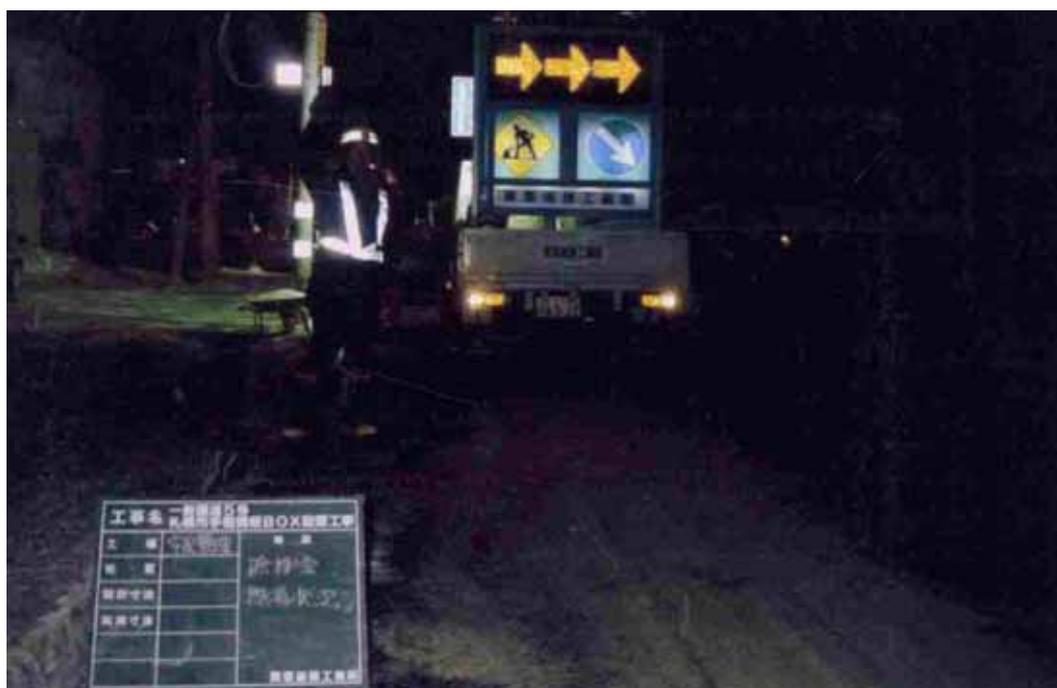
除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / C1:作業員の安全
工事種別	道路工事
工事名称	旭川紋別自動車道 上川町 日東橋下部工事
施工場所	北海道 上川郡 上川町
工期	平成 13 年 9 月 26 日～平成 14 年 3 月 25 日
使用機材 / 機械	タイヤショベル、バックホウ 0.45m <sup>3</sup> 級
現場除雪の工夫・留意点等	国道からの出入口を先に除雪を行う。歩道除雪を行う(歩道の通路が狭くなった時)。防寒囲いの屋根の除雪は、屋根をクレーンで下に降ろしてから除雪を行う。



歩道除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 137】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道5号札幌市手稲情報ボックス設置工事
施工場所	北海道札幌市(手稲区・西区)
工期	平成13年3月2日～平成14年1月18日
使用機材/機械	モーターグレーダー3.7m <sup>3</sup> 級、バックホウ(ホイール式)0.4m <sup>3</sup> 級、タイヤショベル0.3m <sup>3</sup> 級、歩道ロータリー130PS
現場除雪の工夫・留意点等	作業による注意を促す為に、検認性効果の大きいLED搭載の車を配置し、一般車輛の誘導に配置した。バス路線である為、バス運転手、乗降客に対して臨時バス停の看板をあげ、交通整理員を配置の上安全誘導努めた。



LED式電光盤

【現場除雪事例：H13 北海道 139】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道36号札幌市豊平歩道改修工事
施工場所	北海道札幌市豊平区豊平
工期	平成13年10月5日～平成14年3月26日
使用機材 / 機械	ホイールローダー（フルカワ）FL302、0.4m <sup>3</sup> タイヤバックホウ（コマツ）PW1003A、0.2m <sup>3</sup> バックホウ（コマツ）PW20A
現場除雪の工夫・留意点等	作業形態に合わせて、必要箇所のみ排雪を行った。縁石部分の損傷を防ぐため、目印の位置出し、マーキングを行った。バックホウによりケズリ取りを行ったのでスキ刃付きの排雪バケットを使用した。一般車両の出入口付近の排雪が多かったため、排雪箇所と、現況積雪箇所の段差のすりつけを行った。
	
<p>排雪時積雪寸法（縁石の位置確認）</p>	

【現場除雪事例：H13 北海道 144】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	平成12年度施行 一般国道334号 斜里町 於近改良外一連工事
施工場所	北海道斜里郡斜里町字以久科・日の出
工期	平成13年3月1日～平成14年2月13日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.4m <sup>3</sup> 級、ダンプトラック 10t、タイヤショベル 0.5m <sup>3</sup> 級
現場除雪の工夫・留意点等	迂回路の除雪作業で現道よりも低い高さにある為、風向きにより吹き溜まりがはっせいするので歩道等の確保に留意した。交通量が多いので交通誘導員を配置し明確な合図を行い、作業場所と車輛停止位置に余裕をとり第3者災害防止に努めた。ガードレール及びガードパイプ脇に吹き溜まった硬い雪の固まりを除雪するにあたりタイヤショベル等の機械を使用するとスイッチバックをするスペースが確保出来ないためにバックホウの小旋回型を使用し、片側交互通行で作業出来る機種を選定を行った。



機械除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 151】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	岩内洞爺線 橋梁整備（ニセコアンベツ橋取付道路）工事外 1
施工場所	北海道蘭越町湯の里・ニセコ町字ニセコ
工期	平成 13 年 5 月 28 日～平成 14 年 1 月 30 日
使用機材 / 機械	ジョンバ（スコップ）、ママさんダンプ / 0.45 バックホウ、10t ダンプトラック 10t 4 台、タイヤショベル 60ZA(大型) 1 台、タイヤショベル SL302（小型） 1 台、除雪機（家庭用）1 台
現場除雪の工夫・留意点等	路線の除雪 ～ 土現の除雪車には工事現場内は端まで近づかないよう除雪をお願いし、現場のタイヤショベルにて朝 5 時～ 7 時の間に施工ヶ所還形まで、すみずみの除雪をし、路線巾を確保。



インターロッキング歩道除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 165】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	北光置戸線改良工事外2工区
施工場所	北海道常呂郡置戸町
工期	平成13年7月18日～平成14年3月20日
使用機材/機械	バックホウ0.45m <sup>3</sup> 級、ダンプトラック10t、ブルドーザー2t級
現場除雪の工夫・留意点等	片側交互通行の規制をかけて排雪し、第3者等の安全を確保。ガードマンの配置。



片側通行、ガードマンの配置

【現場除雪事例：H13 青森県 4】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / C2:住民・通行者の安全 / E:地域住民への配慮 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路工事
工事名称	洞内地区交差点改良工事
施工場所	青森県十和田市大字洞内字後野～字妻ノ神 地内（国道4号線）
工期	平成13年3月27日～平成14年3月5日
使用機材 / 機械	角スコップ（アルミ製）、ツルハシ、ガスバーナー、竹箒 / バックホウ 0.25m <sup>3</sup> 、タイヤショベル 0.40m <sup>3</sup> 、ダンプトラック 2t、ダンプトラック 4t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>路盤、路床に雪が混入しないよう、ブルーシートを敷き（冬期間は毎日作業終了後敷設）降雪があった場合、人力及びバックホウ（0.25m<sup>3</sup>）で除雪。歩道部において併用させながらの施工ではブルーシートの上に、滑り止めのマットを敷設。除雪の処理は、民家等が近接しているため、バックホウ及び人力により2t～4tダンプトラックに積込み、当社資材置き場に運搬集積。当現場は現道拡幅工事であると共に、民家等とも近接しているため、小型機械により除雪。スコップはアルミ製の軽量かつ、普通より大きめのものを使用。</p>



電熱マットによる凍上防止と融雪

【現場除雪事例：H13 岩手県 31】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / B4:シートの活用
工事種別	道路工事
工事名称	一般県道上斗米金田一線金田一川地区道路改良工事
施工場所	岩手県二戸市金田一川地内
工期	平成 13 年 10 月 31 日～平成 14 年 3 月 15 日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.2、バックホウ 0.45、ダンプ 10t、ダンプ 4t
現場除雪の工夫・留意点等	丁張り材料等の回りについては、人力で集め、バックホウでダンプに積み込み置場へ運搬する。除雪の際、一般車両の通行を確保しながら、作業を行う。ブルーシート等で材料、法面、路盤等を覆って置く。



路盤部をシートで保護

【現場除雪事例：H13 岩手県 32】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道282号 一本木バイパス3号橋下部工工事
施工場所	岩手県岩手郡滝沢村一本木地内
工期	平成13年10月16日～平成14年3月30日
使用機材 / 機械	ブルドーザーD20、ブルドーザーD60、バックホウ0.35m <sup>3</sup> 、バックホウ0.6m <sup>3</sup> 、ホイロローダー
現場除雪の工夫・留意点等	仮設道路の法高の低い部分においては除雪した雪を路肩外に出しやす いよう路肩表示の杭のみにした。仮設道路下り勾配箇所は車両等のスリッ プ事故のないよう確実な除雪を行うようにするためバックホウの法面バ ケットで行った



下り勾配箇所法面バケットによる除雪

【現場除雪事例：H13 秋田県 2】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	湯沢国道管内構造物補修第2工事
施工場所	秋田県雄勝郡雄勝町下院内～横手市八幡字石町
工期	平成13年10月16日～平成14年3月8日
使用機材/機械	0.25バックホウ、ダンプトラック4t、ダンプトラック10t
現場除雪の工夫・留意点等	中央分離帯の工事であるために、バックホウにて除雪した雪が車道に出ると交通に支障があるために、車道側は人力と併用して除雪を実施しました。



人力による除雪状況

【現場除雪事例：H13 山形県 10】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	平成13年度 安全で安心できるみちづくり事業 一般国道399号 歩道整備工事
施工場所	山形県東置賜郡高島町大字高島地内
工期	平成13年11月13日～平成14年3月20日
使用機材/機械	バックホウ 0.28m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	車道、歩道共に共用しているため、一般歩行者の通路を確保しながら作業区間を短区間にして、作業しています。また、作業中には、バリケードやカラーコーンにより仮歩道を設け誘導員を配置し、歩行者が車道を歩くのを防ぎます。



歩行者の安全を確保しながらの除雪状況

【現場除雪事例：H13 山形県 12】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	3.4.4北本町飛田線 緊急地方道路整備事業B街路整備工事
施工場所	山形県新庄市宮内地内
工期	平成13年11月5日～平成14年3月27日
使用機材/機械	スノーダンプ、スコップ/パワーショベル0.4m <sup>3</sup> 、ダンプトラック4t
現場除雪の工夫・留意点等	迂回路をガードマンと信号機を付け一班車両を片側交互通行にしてから排雪し、その後、現場内を排雪運搬した。空地を利用して排雪置場とした。



迂回路の排雪状況

【現場除雪事例：H13 富山県 4】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般県道平阿尾線地方特定道路改良工事
施工場所	富山県氷見市下戸津宮地内
工期	平成 13 年 12 月 25 日～平成 14 年 3 月 12 日
使用機材 / 機械	スコップ / バックホウ 0.25m <sup>3</sup>
現場除雪の工夫・留意点等	丁張や構造物をきずつけないようその周辺は人力で除雪した。小型のバックホウを使用し、交通の支障にならないようにした。



【現場除雪事例：H13 富山県 5】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	都市計画道路大泉赤江線地方特定道路改良第1工区工事
施工場所	富山県富山市海岸通地内
工期	平成13年9月26日～平成14年3月15日
使用機材/機械	タイヤショベルローダー0.8クラス、バックホウ0.12クラス、バックホウ0.25クラス
現場除雪の工夫・留意点等	保安設備(路肩部)周辺の除雪を人力にて速やかに行い、通行車輛の妨げにならないよう留意し、歩道部は、タイヤショベルローダーにて速やかに排雪を行った。歩道幅員に適合した重機、ダンプトラックの使用。車道、歩道を通行する第三者の安全確保。



歩道の除雪

【現場除雪事例：H13 新潟県 28】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / C4:土砂混入軽減・防止
工事種別	融雪施設補修工事
工事名称	道融修第800-00-02-00号 県単道路融雪施設(補修)長生橋歩道橋(右岸側)液パイ補修工事
施工場所	新潟県長岡市山田2丁目長生橋東詰歩道
工期	平成14年1月8日～平成14年3月15日
使用機材/機械	人力、スコップ、スノーダンプ等
現場除雪の工夫・留意点等	<p>本工事は歩行者専用歩道内での施工であるので第一に歩行者通路の確保を重点として行うと共に作業帯の確保及び施工箇所積雪の排除である。掘削土砂と積雪が混じり融雪後に路面の汚れを排除するために可能な限り除雪する。作業は人力で行い、雪は作業の支障とならない路肩等に寄せた。</p>



【現場除雪事例：H13 北海道 60】

除雪工夫分類	D2:路面・法面への配慮 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	一般国道274号 号清水町石山道路舗装工事
施工場所	北海道川上郡 清水町 清水 国有林24林班(日勝峠7合目)
工期	平成13年3月7日～平成14年1月31日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.4m <sup>3</sup> 級 (法面バケット) PC120 小松機械、モーターグレーダー (3.7m) GD-505A 小松機械、路面ヒーター (アースドライヤー) ED3000C 石狩造機、塩カル散布車 (4t ダンプと散布機) 自社製品
現場除雪の工夫・留意点等	路盤施工時に、新雪が降った時は、圧雪しないで人力で竹ぼうき及びスコップ等で路肩に寄せて、その後路面ヒーターで、雪を融かし極力路盤面を傷めないように施工した。舗装版に降雪があった場合、グレーダーにて路肩に雪堤を作り、ショベルバックホウにて路肩 (堆雪スペース) に集雪した。片側交互工事にて、一般車両を停止する場所等、スリップ防止のために、塩化カリウムを散布車にて一般車両影響区間全域の散布を行った。



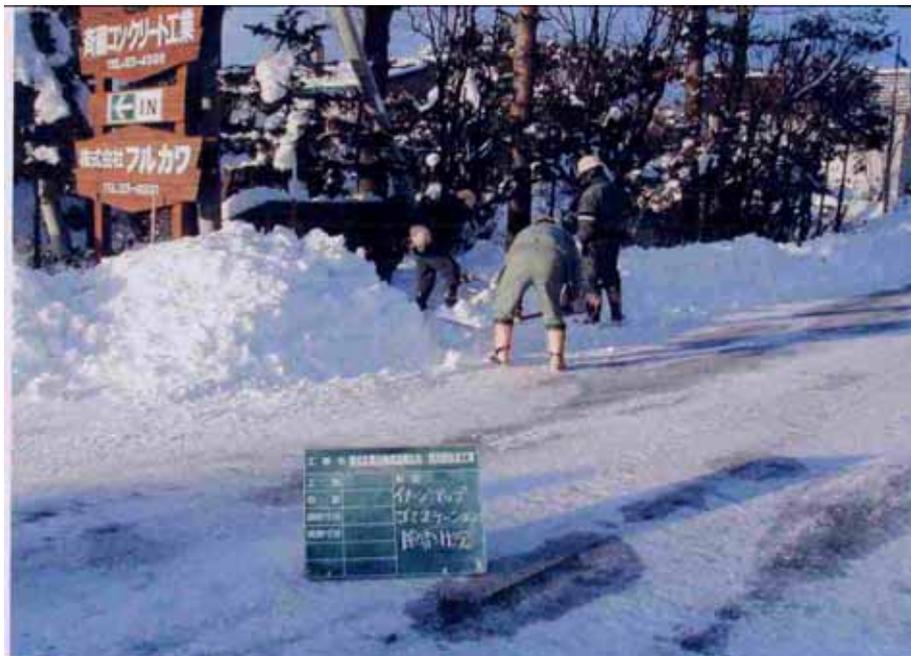
路面ヒーター使用状況

【現場除雪事例：H13 宮城県 8】

除雪工夫分類	D1:構造物への配慮 / D2:路面・法面への配慮 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路工事
工事名称	平成12年度県道改特定05001-002号 新田道路改良工事
施工場所	宮城県登米郡迫町新田地内
工期	平成13年1月29日～平成14年1月31日
使用機材 / 機械	スコップ、ほうき / バックホウ 0.4m <sup>3</sup> 、ブルドーザ 3t
現場除雪の工夫・留意点等	<p>構造物付近は、損傷をあたえないように人力にて除雪した。一度に現地盤まで除雪すると、地盤を傷つけるので3cm程度上げたところまで機械で除雪し、残りを人力で除雪した。ブルドーザで押し切れない時は、排土板付のバックホウで集積し排除した。搬入路として利用している周辺の町道も一緒に除雪した。</p>

【現場除雪事例：H13 北海道 100】

除雪工夫分類	C2:住民・通行者の安全 / E:地域住民への配慮
工事種別	道路工事
工事名称	帯広広尾自動車道帯広市西川西改良工事
施工場所	北海道帯広市川西町
工期	平成 13 年 3 月 27 日～平成 14 年 3 月 18 日
使用機材 / 機械	0.7 バックハウ、0.4 バックハウ、0.3m <sup>3</sup> タイヤショベル、1.0m <sup>3</sup> タイヤショベル
現場除雪の工夫・留意点等	<p>当現場の道路は、2本の側道、1本の市道がある。側道1本の使用頻度が、高く速やかに除雪し一般車両走行を優先し地域の支障にならないよう考慮した。地域のためにゴミステーションの除雪まずは、大型のタイヤショベルとゴムのキャタピラーのバックハウにて、道路の確保に努め。その後、小型のタイヤショベルにて一般車を通しながら細かい部分の除雪を行った。</p>



地域の為にゴミステーションの除雪